

プロジェクト **金融資産の減損に関する会計基準の開発**  
 項目 **本日の審議事項の概要**

### 本資料の目的

1. 本資料は、本日の企業会計基準委員会においてご審議頂く事項の概要についてご説明することを目的としている。

### 本日の検討事項

2. 第419回企業会計基準委員会（2019年10月25日開催）において、予想信用損失モデルに基づく金融資産の減損について開発に着手することが了承され、これを受けて第463回企業会計基準委員会（2021年8月11日開催）において、予想信用損失モデルに基づく金融資産の減損の検討の進め方について6つのステップに分けて基準開発（公開草案の公表まで）を行うことが了承された。
3. 前項を踏まえ、現在ステップ1（ECL（IFRS基準）とCECL（米国会計基準）のどちらかのモデルを開発の基礎とするかの選択）の前段階として、これまで以下のとおり、IFRS第9号及び米国会計基準それぞれの定め、基本的な考え方などの整理を行っている。なお、本委員会で検討する項目は水色でハイライトしている。

検討項目	企業会計基準委員会	金融商品専門委員会
予想信用損失モデルに基づく金融資産の減損の検討の進め方	第463回 (2021年8月11日)	-
金融資産の減損に関連する会計基準の比較	第464回 (2021年8月30日)	第168回 (2021年8月25日)
ECLモデル（IFRS基準）とCECLモデル（米国会計基準）の基本的な考え方	第465回 (2021年9月13日)	第169回 (2021年9月7日)
ECLモデル（IFRS基準）における信用リスクの著しい増大に関する定め	第466回 (2021年9月24日)	第170回 (2021年9月23日)
ステップ1のECL（IFRS基準）とCECL（米国会計基準）のどちらかのモデルを開発の基礎とするかの選択及びその前段階の整理（ステップ0）における検討項目と進め方	第472回（本委員会） (2022年1月26日)	第171回 (2022年1月11日)

## 審議事項(3)-1

ECLモデル(IFRS基準)における相対的アプローチ～信用リスクの著しい増大の評価に関する開示例	次回以降(予定)	第172回 (2022年1月21日)
ECLモデルとCECLモデルにおける予想信用損失の測定に関する定め及び開示例	次回以降(予定)	第172回 (2022年1月21日)

4. 本日は、前項までの経緯も踏まえ、ステップ1及び0の検討の進め方について、事務局が考える枠組みをお示しし、これまでの検討項目の位置付けを確認すること及び今後の検討項目についてご意見を伺うことを予定している。

以 上